

清水町 議会だより



令和4年度 一般会計補正予算

南小学校北校舎改築に審議集中…… 2

一般質問 8人が町政を問う …… 5

追跡 あの質問はどうなった? …… 13

先進地視察でまちづくりを学ぶ …… 14

インタビュー

目指せ パークゴルフ日本一! …… 16

笑顔がまぶしい20歳の門出を祝う会

令和4年第4回定例会を11月30日から12月20日までの21日間にわたり開催しました。
清水町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例のほか、一般会計補正予算や特別会計補正予算など17議案が提出され、すべて可決しました。
一般質問では、8人の議員が質問しました。

改築に審議集中

問 学校施設長寿命計画では大規模改修の計画であるが、改築に変更した理由とその経緯は。

答 南小学校の北校舎は、町内小中学校の中で最も古い校舎であり、令和4年当初予算で躯体の詳細な調査を実施した。調査の結果のほか国庫補助事業の見込み、将来計画等を踏まえ改築により対応していくこととした。

問 教育委員会などでの意見は。

答 教育委員会では、事業の完成時期や改築校舎の規模に関する質問、子供たちのアイデアを設計に反映してはなどの意見があった。南小学校からは、工事に伴うグラウンドの使用範囲や期間の制限を早めに知らせてほしいとの意見があった。

いとの意見があった。今後、必要に応じてPTA等に対して情報提供をしていきたい。

問 今回の補正予算に計上した理由は。

答 想定しているスケジュールは、令和7年度末に校舎が完成の予定である。仮に今回の計上を見送ると年単位で遅れが生じ、その後の他校の計画に影響があることから、今回の補正予算に計上し、早期の対応を図ることとした。

問 南小学校の児童数の推移予測は。

答 令和4年度の681人から、令和10年度は505人に減少すると予測している。

問 改築の規模は。

答 設計業務の中で、新校舎を使用開始する時期の人数、学級数を基準に規模を検討していく。

問 ハザードマップで浸水想定区域となっているが、対策は考えているのか。

答 設計時に浸水状況等の確認を行い可能な対策を考慮していきたい。

問 南小学校北校舎の耐力調査とは。

答 建物の構造耐力や機能低下の度合いを測定、点数化する調査であり、改修や改築の判断材料の一つとなる。新築の場合が1万点満点で、建築年次が古い北校舎西棟が4802点、東棟が4770点である。

問 徳倉地域内に小学校が欲しいという要望もあるが。

答 徳倉地区には南小学校相当の約2万5000平方メートルの敷地の規

模を確保できる適地が見当たらないと考えている。

ゆうすいポイント

問 ゆうすいポイント買い回りキャンペーンとは。

答 コロナ禍において、エネルギー、食料品の価格が高騰している影響を鑑みて、住民生活や事業者を支援するために、ゆうすいポイント加盟店を、例えば3店舗回ると500ポイント、5店舗回ると1000ポイントなど

段階的にボーナスポイントを付与することと併せて、さらに飲食店等を5店舗回ると3000ポイントを付与するキャンペーンなどを考えている。また、期間中キャンペーンに参加した方から、抽選でポイントが当たる企画もしている。



設計業務が始まる南小学校北校舎

令和4年度 一般会計補正予算 南小学校北校舎

討論

賛成 8 人 反対 5 人

一刻も早い改善を

賛成
です

学校施設の老朽化に伴う学習環境の悪化の一刻も早い改善と子供たちの安全確保について、議会でも指摘されてきた中、将来計画を踏まえ対応する町の方針は評価ができる。

(秋山 治美 議員)

令和4年度当初予算で実施した躯体調査の結果は1万点中の半分にも満たない点数となっている。当初予算はスケジュールの説明がなされた上で、議決しているため、本補正予算に対する評価は適正である。

(大濱 博史 議員)

南小学校の校舎が老朽化してきていることは、当然のように知られている事実であり、大雨のときは雨漏りがひどく、翌朝先生たちがいち早く掃除をしている。子供たちのためにすぐにでも改築を進めるべきである。

(桐原 直紀 議員)



快適な学習環境を子供たちに

反対
です

南小学校はハザードマップで浸水想定区域であり、非常時に避難場所として活用ができるのか。未来を見据えて小中一貫校、廃校、産業の創出等も視野に入れ、今後の在り方を再検討すべきである。

(向笠 誠 議員)

平成12年に1000人近くいた児童が30年足らずで半分に減る現状を新たな局面と認識し、地域住民との議論を尽くして南小の在り方を考え直すべきである。

(吉川 清里 議員)

南小学校や他の学校も児童数の減少が予想される。また、学校施設の更新は町政に大きく影響する。学校施設整備指針を策定し、町民と共有し、理解と協力を得ながら進めていくことが重要である。

(松下 尚美 議員)

学校施設長寿命化計画では、改築時期を延ばすことにより総費用は95億円削減できると結論を出している。なぜ改修ではなく、改築となったのか説明が必要である。

(森野 善広 議員)

町民に意見を求めず、合意形成も図らずに、50年間は使う学校の建て替えを早急に決定すべきではない。徳倉地先の町民の避難所、救護所をどうするのか、最優先で町民の命を守る行動を取る必要がある。

(山本 文博 議員)

主な補正予算の内容

- ◆ **南小学校北校舎改築事業** **8025 万円**
老朽化した北校舎を改築するための設計費であり、児童の教育環境を時代に合うように整備する。
- ◆ **中小企業へ物価高騰応援給付金** **5663 万円**
新型コロナウイルス感染拡大の影響によりエネルギー価格・仕入等の物価高騰の影響を受けた中小企業を応援する給付金を支給する。
- ◆ **民間保育士・放課後児童支援員の処遇改善** **915 万円**
民間保育士、放課後児童教室の支援員の処遇改善を図るため補助金を追加する。
- ◆ **医療機関への補助金・支援金** **1599 万円**
救急患者などの受入れ体制を強化するため、医療設備の購入に対する補助やエネルギー等の物価高騰の影響に対する安定的な医療サービス等を図るため、医療機関等に対して支援をする。
- ◆ **新型コロナワクチン接種業務** **5968 万円**
オミクロン株対応の追加接種、乳幼児のワクチン接種における医療従事者等が行うワクチン接種にかかる費用とする。
- ◆ **生ごみ処理機設置費補助金** **33 万円**
生ごみ処理機の購入費の助成を行う。当初の見込みを上回る申請があることから、追加補正する。
- ◆ **ゆうすいポイント事業** **500 万円**
住民生活、事業者を支援するため、ゆうすいポイントにボーナスポイントを付け、地域経済の活性化を図る。

条例改正

清水町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

職員の定年の年齢を60歳から65歳まで2年に1歳ずつ引き上げ、課長職、課長補佐職には60歳到達後から役職定年制を導入することとなりました。

問 職員の定数条例において職員数の上限が定められているため、定年延長した正規職員が増えることで、新規採用職員に影響はないのか。
答 定員適正化計画を踏まえた中で一定数の職員を採用していく。

清水町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

定年引上げ制導入に伴い、60歳を超える職員の給料月額額は、60歳到達時点の給料月額額の7割と定められました。さらに、定年前再任用短時間勤務職員の給与額について新たに規定しました。

清水町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

国において非常勤消防団員の報酬等の基準が策定されたことに伴い、団員の年額報酬額の一部を改定するほか、出勤に関する手当を新たに出勤報酬に改め、支給額を定められました。

その他
清水町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例など

8件

全員賛成

8人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。

問 耕作放棄地対策は

答 町民農園の拡充を検討する



飯田 安雄

問 町の遊休農地、荒廃農地（耕作放棄地）の面積は。

答（産業観光課長） 耕作放棄地としては、市街化調整区域で3・0ヘクタール、市街化区域で0・6ヘクタール、計3・6ヘクタールである。

問 遊休農地等の現地の確認や調査の方法は。また、その管理体制をどのように図っていくのか。

答（産業観光課長） 毎年9月に、農業委員が現地調査を実施し、その報告をもとに、町職員が現地確認を行っている。その結果、必要に応じて雑草

の管理等の指導・勧告を行っている。

問 遊休農地等になった理由を町は把握しているのか。

答（産業観光課長） 農業従事者の高齢化や後継者がいないことが要因であると考える。

問 耕作放棄地対策の一つとして、新規就農者の育成を目的に町民農園の拡充等を検討してはどうか。

答（産業観光課長） 遊休農地等の増加抑制のため、JAふじ伊豆と連携し、就農プラットフォーム制度を活用した「週末農業」や「きままに就農」など、新規就農者の育成に努めている。

来年度以降、就農希望者や従来の町民農園より

広い農地を希望する方を対象に、町民農園の拡充を検討していく。さらに、町民農園の利便性を踏まえ、耕作放棄地でも就農できるような制度拡充に向けた調査・研究をしていく。

通訳支援員の充実を

問 幼稚園と外国人保護者が抱える言葉の問題について、改善するためにどのように考えているのか。対策は図られているのか。

答（こども未来課長） 意思疎通が重要課題と考え、外国語自動翻訳機等の配置や英訳のお知らせ等の配布、また、西幼稚園には週に2日、外国籍児童生徒等学校生活支援員の派遣や週3日4時間

勤務で通訳支援員を配置している。

問 西幼稚園に新たに通訳支援員を配置したことは高く評価するが、十分とは言えない。今後の対策は。

答（教育長） 必要に応じて、西幼稚園以外の5つの幼稚園及び保育所にも通訳派遣を行うとともに、勤務日数を増やす等の見直しを行う予定である。

質問者の動画が見られます



外国人園児が多い西幼稚園

問 良好な住生活環境の確保に向けて

答 指針やマニュアル等の整備に着手する



大濱 博史

もとに、原因者に対して必要と思われる支援のあり方や、周辺に影響する堆積物の状況確認など、改善に向けた意見交換等を行った。

原因者自身や親族、地区役員が複数回撤去等の作業をしたが、短期的には改善が図られるものの、根本的な解決には至っていない状況である。

問 不良な住生活環境下にある建築物等への対策として、指針やマニュアル等の整備を提案するが、町の考えは。

答（くらし安全課長）住民との協働を踏まえた指針やマニュアル等の整備を進め、関係者や関係機関が横断的に対応することができるように取り組む。

大学等新幹線通学支援事業

問 大学等新幹線通学支援事業において、対象となる路線や区間の拡充等、制度の見直しの考えは。

答（企画課長）近距離通学している学生も、将来を選択する中で本町に住

み続けてほしいと考えている。このことから、公平性の観点を含め、本制度の実施状況や町の財政状況等を見極めた中で調査・研究していく。

協働のまちづくり

問 協働のまちづくり事業には、若年層の参画が重要と捉えている、町の見解は。

答（副町長）行政しかできないことを職員が全力で汗をかくことで、町民等との信頼関係を築き、共に汗をかき、町づくりを進めることで若年層の

地域への愛着と誇りとなり、定住へとつながるものと考えている。先進事例などを参考に、企業との連携や若者が主体的に参画する協働のまちづくりを積極的に進めていく。

問 不良な住生活環境下の建築物等について中徳倉区からの要望により、町と協議会が開かれてきた。その成果と課題は。

答（くらし安全課長）介護支援専門員や保健師による聞き取り情報などを



地域と行政の協力で良好な住生活環境を

質問者の動画が見られます



問 歩道のバリアフリー化を

答 段差を減らすようにしていきたい



森野 善広

問 町の歩道には段差があるが、理由は。

答(建設課長) バリアフリー化を踏まえた国の基準では、段差は2センチメートルが標準とされており、歩道と車道の区別をしているなど視覚障が

い者、車椅子利用者の双方からの意見を伺い決められている。

問 町の歩道もバリアフリーで造るべきだと思いが。

答(建設課長) 歩車道境界ブロックの設置高さの調整など施工を工夫することにより、少しでも段差を減らすような施工をしていきたい。



段差を減らす工夫を

十分な
翻訳機の
配置を

問 小中学校には外国語自動翻訳機が何台あるのか。

答(教育総務課長) 県からの無償貸与が2台、町の所有が8台の計10台である。

問 十分な翻訳機の配置を行うべきだと思いが。

答(教育総務課長) 町では各校から使用状況の報告を受けており、希望台数を把握している。配置要望がある学校は、予算の状況を踏まえて、購入可能な台数を検討している。今後も、児童生徒の転入や学校現場の要望に応じ、速やかに配置していきたいと考えている。

学校給食の無償化を

問 子育て世帯の負担を軽減するために、無償化をすることは検討しないのか。

答(教育総務課長) 子育て世帯の経済的負担の軽減などを理由に学校給食費の無償化をしている自治体もあるが、本町で実施した場合、毎年約1億4000万円を超える新

たな財源が必要となる。そのため、無償化については、財政状況などを踏まえて慎重に調査研究していくことが必要であると考えている。



外国人生徒の支援に翻訳機を

質問者の動画が見られます



ここが聞きたい

問 幼保一体化等の計画の策定を

答 早期の計画策定に取り組む



桐原 直紀

であることから、現状の4園から統廃合により縮小する必要はあると考えられているが、具体的な園数については統廃合の方法と併せて検討する。

問 令和4年9月議会において「今後、幼稚園の統廃合を進める」と答弁があった。現状4園ある幼稚園をいくつにするのか。

答 (こども未来課長) 現在の町立幼稚園の定員充足率は4割を割った状態

か。

問 実際に統廃合を進める場合、統廃合に何年程度かかるのか。

答 (こども未来課長) 園児への影響や円滑な再編を考慮すると、募集の際に統廃合に向けて在園期間の短縮を説明し、保護者等関係者の理解を得た

上で進めた場合、準備期間等を含め1園につき3年程度はかかるものと考えている。

問 町立幼稚園の中で築年数などから改修、改築等が必要な幼稚園は。

答 (こども未来課長) 町立幼稚園の改修等については、子育て支援施設個別施設計画に定めており、北幼稚園と西幼稚園は間もなく築30年を迎えることから、今後10年間で大規模改修を行う計画である。

問 町立保育所の中で築年数などから改修、改築が必要な保育所は。

答 (こども未来課長) 町立保育所の改修等についても、幼稚園と同様に子育て支援施設個別施設計画に定めており、清水保

育所が築37年を経過していることから、今後、大規模改修を行う計画である。

問 令和4年9月議会の答弁において、統廃合後の施設の有効利用の一つとして「子育て支援に資する施設」とあるが、具体的には。

答 (こども未来課長) 待機児童の解消及び既存施設等の有効利用を考慮すると、統廃合後の施設は、まずは認定こども園としての利用が考えられる。

そのほか、子育て支援に資する施設としては、近年、特別な支援を必要とする子供が増えていることから、発達支援に関する施設も検討すべき施設の一つとして考えている。

問 今後、幼稚園2園と保育所1カ所の大規模改修が予定されているということだが、そういった状況も考慮した上で、今後の少子化の状況や幼児職員の処遇や配置、設備や保育ニーズに至るまで細部にわたった町独自の幼保一体化等の計画を策定してみてもどうか。

答 (こども未来課長) 幼保一体化等の計画に対しては、幼稚園及び保育所施設の統廃合を含めた再編並びに施設の大規模改修を踏まえ、計画的に進める必要があると考えているので、早期の計画策定に向けて取り組んでいく。



子供は町の宝です

質問者の動画が見られます





早期の改良が望まれる「あみや交差点」

問 県道中徳倉交差点改良の早期事業着手は

答 早い事業化を検討したい



渡邊 和豊

問 中徳倉交差点（通称「あみや交差点」）は歩道が狭い上に交差点内の見通しが悪く、交通事故の危険性が高い交差点として、改良を望む声が多く寄せられている。

答（町長） 現在、町では多くの事業を抱えている中、計画の前倒しの検討や県との調整等、課題は多くある。財政状況も踏まえた上で、今後、少しでも早い事業化を検討したいと考えている。

自転車 ネットワーク 計画

問 現在、未整備である徳倉橋から外原地先を経て、香貫大橋に至る堤防を活用したサイクリングルートの整備の考え方は

答（建設課長） 清水町自転車ネットワーク計画として利用する場合、河川管理用道路を安全に通行できるように、町の負担で国が承認する工事を行うなどの課題があり、時間や経費が多くなる。サイクリングルートの必要性は認識しているもので、今後、堤防整備の進捗に合わせ、国などの関係機関と調整する中で可能性を探る。

狩野川の堤防整備計画

問 徳倉橋から龍泉寺手前までの狩野川の堤防整備の進捗状況と今後の事業計画の予定は。

答（建設課長） 用地買収が全て終了し、この秋の渇水期から工事を再開し、完成は令和7年5月頃を目指していると国から聞いている。

問 狩野川の内水面の水対策として、和田川の樋管にポンプを設置する考えは。

答（建設課長） 和田川の河床は、狩野川の標準水位より高く、掘り込み河道で、隣接する宅盤も高く位置することから、比較的内水氾濫の可能性が少ないと推測される。さらに、今回の樋管設置により、狩野川からの逆流を防ぐことができ、従前より安全性が高まるので、排水ポンプの設置の必要性は低いと考える。

問 整備する樋管は、狩野川の水位が高くなると、水位差によりゲートが白

質問者の動画が見られます



ここが聞きたい

問 手話言語条例の制定を

答 制定に向けて前向きに検討したい



石垣 雅雄

うち、手話を言語として生活している方で、町が把握している人数は7人である。

問 平成18年12月国連において、「手話は言語である」と定義された。町内の聴覚障がい者の数と手話を言語としている人の数は。

答 (福祉介護課長) 聴覚の障害者手帳を保有している方は、令和3年度末時点で82人であり、その

問 手話通訳の資格を取るのは非常に難しい。町内と近隣市町の手話通訳者の数は。

答 (福祉介護課長) 現在、町には県が認定する県認定手話通訳者及び国家資格である手話通訳士は、いない。近隣市町では、どちらかの資格を有する方は、沼津市が20人、三島市が13人、裾野市が3

人、長泉町が2人、函南町が4人である。

問 聴覚障がい者が役場や病院に行く際に、町は通訳者の派遣事業を行っているが、他にどのような支援事業があるのか。

答 (福祉介護課長) 聴覚障がい者等が日常生活を営むために必要があると認められる場合、要約筆記者を派遣する事業を行っている。

問 手話養成講座生の育成や小中学生に総合学習で講座を実施してはどうか。

答 (福祉介護課長) 町社会福祉協議会への委託により手話奉仕員養成講座を実施している。講座修了者には、手話サークルあゆの会への入会により手話技術の向上の取組や

広報・啓発活動、資格取得を推奨している。

また、夏休みに小学生の体験学習として手話講座を実施している。総合学習における手話講座の実施については、教育委員会と調整を図り、実施に向け検討していく。

問 「手話は言語である」との理解と普及の促進、ろう者とうろう者以外の共生社会の構築のために清水町手話言語条例の制定を検討すべきと思うか。

答 (町長) 第5次総合計画において施策として掲げる「すべての人の快適なくらしを支える体制の充実」を進める共生社会を実現するために、大変重要なものと考えている。手話言語条例の制定に向け、前向きに検討したい。

問 近年、全国的に带状疱疹の患者が増えている。ここ3年間の患者数の推移は。

答 (健康づくり課長) 全数を把握できないが、国民健康保険加入者の带状疱疹による受診件数は、令和元年度は116件、令和2年度は118件、令和3年度は133件である。

問 带状疱疹を予防するにはワクチン接種が最も有効であるが、高額のため積極的な接種に至っていない。広く接種を受けられるよう、助成を検討すべきと思うか。

答 (町長) 国の動向も注視しつつ、先進自治体を調査・研究しながら検討したい。

質問者の動画が見られます



带状疱疹
ワクチンに
助成を

問 災害時のトイレカーの導入を

答 広域での整備や活用を検討していく



松下 尚美

問 令和4年9月の台風15号により静岡市清水区では約6万3千戸が断水しており、復旧までに13日間かかっている地域もある。町の断水対応はどのようなになっているのか。

答(くらし安全課長) 水道の復旧は上水道事業者である沼津市と町の災害対策本部が地域防災計画等に基づき、対応することとなっている。

町では、総合運動公園・清水中学校・町営野球場に100トン貯水槽と3小学校ほか公共施設7か所に1トン給水タンクを設置し、災害時の断水に備えている。

問 清水区では、断水によりトイレが使えない家庭が多く出たが、災害時の権利を示すスフィア基準では、トイレの設置基準が「20人に1つの割合で設置」、「男性と女性の割合は1対3」と定められている。町は基準を満たしているのか。

答(くらし安全課長) 国のガイドラインに基づき発災当初は避難者約50人に1基、その後、避難が長期化する場合は約20人に1基の設置を目安として整備を進めている。現在最大想定避難者数5227人に対し、199基のトイレを備蓄しており、約26人に1基の割合となっている。

男女比については、各避難所の状況に応じた柔軟な対応を想定している。

問 本町では、宮城県利府町と災害時等における相互応援協定を締結している。利府町ではトイレカーを2台保有しているが、協定において、互いにどのような応援をするのか。

答(くらし安全課長) 職員の派遣及びトイレカーをはじめとする資機材や物資の提供などを行うこととなっている。

問 本町においてもトイレカーを導入することが有効だが、町の考えは。

答(くらし安全課長) 町では避難所へのマンホールトイレ等の設置が有効と考え、整備を進めている。トイレカーについては、広域での整備や活用について、検討していくことが有効であると考えている。

行政手続のオンライン化

問 町民の利便性の向上につながる行政手続のオンライン化について、計画はあるのか。

答(企画課長) オンライン化できる行政手続を拡充するとともに、マイナンバーカードを活用した手続やクレジットカード決済の導入を進めるなど、町民の利便性を重視した行政手続のオンライン化を推進していく。

問 町の公式LINEの機能を拡充して、セグメント配信やメッセージ応答、住民向けアンケートの利用などを行う計画があるのか。

答(企画課長) 町民の利便性向上につながる有効なサービスと認識している。費用対効果や町の財政状況等を勘案した中で検討していく。



災害時に活躍するトイレカー

質問者の動画が見られます



ここが聞きたい

問 町が外原区と交わした確認書とは

答 新中間処理施設に言及したものでない



吉川 清里

問 令和4年9月26日付で、町が外原区と交わした確認書では、「外原区は清水町が実施する廃棄物処理事業全般については理解する」という文言がある。この「理解」と外原区が沼津市新中間

処理施設（焼却場）の建設に対する見解「静観」との違いは。

答（くらし安全課長） 確認書における「理解する」とは、町が行政の責務として行う廃棄物処理事業全般に対して外原区としての見解を示したものであり、静観の姿勢を示している沼津市新中間処理施設の整備に対して言及したのではないことを確認している。

問 確認書では「覚書を守ることができなかったこと及び外原区が沼津市の焼却施設を長年受け入れてきたことについて環境整備費（迷惑料）を支払う」とあるが、この意味は。

答（くらし安全課長） 確認書に記載されている環境整備費（迷惑料）を負担することは、過去に町が外原区と交わした覚書を守ることができず、外原区が長年にわたり沼津市の焼却施設を受け入れてきたこれまでの経緯そのことに對する町としての姿勢を示したものであり、新中間処理施設に對するものではない。

補聴器購入に助成を

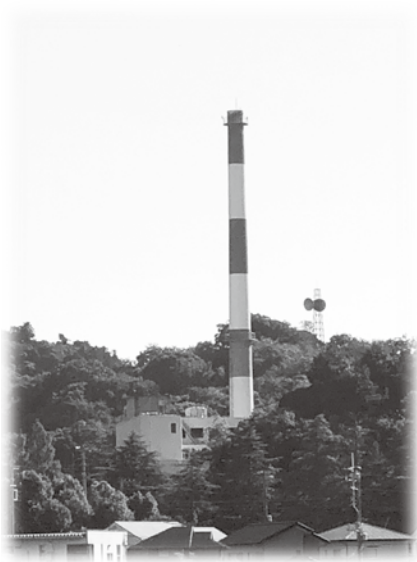
問 現在全国で補聴器購入への助成制度は、114市区町村が実施している。補聴器の使用により、認知症の予防だけでなく、認知機能の改善の可能性もある。

町でも補聴器購入への助成制度を実施すべきではないのか。

答（福祉介護課長） 助成制度は、地域の実情に応じて全国の一割弱の市区町村で導入されている。国では認知症施策推進大綱において認知症の予防と共生を主眼に置いた施策を推進していることから、国による公的補助の制度化を求めている市区町村もある。本町においても国による制度化が望ましいと考えている。

問 北海道根室市では、障害者総合支援法や介護保険等で対応が困難で、医師が必要と認めた生活用具について助成する生活支援特別給付事業を行っている。この事業では補聴器だけでなく、車いすやIHコンロ等も助成対象となっている。町でもこのような制度を行う考えはあるのか。

答（町長） 生活支援事業の実施については、第5次総合計画の施策として掲げる「すべての人の快適なくらしを支える体制の充実」における有効な手段の一つであると考え、国の動向や類似の補助制度とのバランスを踏まえ、先進事例、近隣市町の状況を参考に研究したい。



建て替えが計画されている沼津市ごみ焼却場

質問者の動画が見られます



追跡

あの質問は どうなった？

その後を検証していきます

おくやみハンドブックの作成

質問 (令和2年3月議会)

家族が亡くなったときの役場の手続を相談できる「おくやみコーナー」の設置や手続に必要な書類の一覧表を示した「おくやみガイドブック」の作成をしてはどうか。

答弁

対応する職員が必要な窓口を案内し、親切丁寧な対応に努めていく。

現在は

おくやみハンドブックを作成し、令和2年9月から配布している（町ホームページにも掲載）。一覧表に沿い、手続をもれなく進められるように案内をしている。



(仮称) 狩野川新橋

質問 (令和2年9月議会)

(仮称) 狩野川新橋（狩野川第3架橋）の整備の進捗は。

答弁

県議会の答弁で「地元の説明会を行い、早期の事業化を目指す」と答弁があり、説明会開催に向けて準備を進めていると聞いている。

現在は

令和3年度から事業化され、測量・調査・予備設計等を行いながら、地元説明会による意見交換を進めるとともに、関係地権者との境界確認を順次行っている。



ゆうすいポイントの事業展開

質問 (令和3年9月議会)

ゆうすいポイントの今後の方向性は。

答弁

健康事業との連携や町民参加の協働のまちづくり事業等でのポイント付与などの事業展開に取り組む。

現在は

令和4年12月からまち歩きアプリ「PLUS-Walk 清水町」との連携を開始した。けんこうポイントを8000ポイント以上貯めると、ゆうすいポイント800ポイント以上と交換可能になった。



バス停にベンチを設置

質問 (令和3年9月議会)

高齢者のために、バス停に待合ベンチを設置してはどうか。

答弁

バスの利用状況や周辺状況を踏まえた上で、検討したい。

現在は

令和4年度の当初予算で計上した。現在3か所のバス停にベンチが設置されている。



まちづくりを学ぶ

総務建設委員会

協働のまちづくり

視察先

宮城県東松島市

10月4日・5日

平成17年の合併後、108組織あった地区自治会を70組織にスリム化し、小学校単位に8つの地域自治組織「まちづくり協議会」を設立した。拠点施設として市民センターを整備し、地区ごとの目標「地域まちづくり計画」を策定し、まちづくり交付金も創設した。地域の課題を話し合い、解決に向けて知恵を出し合い、住民自らが住みよいまちづくりのために活動・行動している。

考察

・防災への意識を高めるためには、人と人とのつながりが重要である。
 ・高齢化により、地域の担い手が不足しており、行政の支援が必要である。
 ・地域移転等が進み、新しいコミュニティの形成が課題である。
 ・住民が地域に愛着を持ち、自らがより良いまちづくりを進めるためには、行政や他の機関と連携・協力し、活動していくことが必要不可欠であると感じた。



復興伝承館で震災の復興状況を学ぶ

東松島市震災復興伝承館

震災復興伝承館は、東日本大震災の記録、復興状況などを展示・紹介し、広く後世に伝承することで、震災の風化を防ぎ、防災意識の醸成を行っている。隣接した敷地には津波による被害を受けたJ R野蒜駅が震災直後の姿のまま震災遺構として保存されており、祈念広場が設置されている。

考察

・被災地を訪れた被災者が経験したつらい体験を見聞することは震災をより身近なものとして受け止めることができ、自助が最も重要であると感じた。
 ・地震災害発生時に一人ひとりができることを考え、行動する力や方法を多くの方に伝えていかなければならないと感じた。

まちづくり大学を開校

視察先

宮城県宮城郡利府町

10月6日

国の地方創生交付金を活用し、「まちづくり大学」を平成29年度に開校した。「みんなと一緒にできるまちづくり」を実現するために専門講座、ワークショップを開催し、様々なまちづくりへの想いを持った人々が自ら学び合う機会を設けることで「協働のまちづくり」に向けた意識の醸成を図り、リーダーとなる新たな人材や団体の育成を支援している。

考察

・多様な世代、分野の方々が集まったことで、協働のまちづくりを進める上での問題点が可視化された。
 ・トイレカーは災害対応だけでなく、イベントなどにも使えるため、費用対効果を含め、導入を検討すべきと感じた。



災害時にも日常と変わらず衛生的に使えるトイレカー

先進地視察で

民生文教委員会

生活困窮者自立支援

視察先

香川県丸亀市

10月24日

丸亀市では、生活保護に陥る前段の生活困窮者を支援するための制度として、平成27年の自立支援法に基づきトップダウン方式でモデル事業を委託した。補助金を活用して実施体制をいち早く整備し、必須事業だけでなく、問題解決のためのつなぎ先や支援制度を確保し、「貧困の連鎖」を断ち切るための任意事業も積極的に行っている。

支援事業の内容

- 自立支援相談事業
- 家計改善支援事業
- 丸亀市社会福祉協議会に委託。
- 就労準備支援事業
萬象園（救護施設）、さぬき自立支援ネットワークに委託。
- 学習・生活支援事業
- 丸亀市福祉事業団に委託。
- 住居確保給付金
離職等で住宅を失った方に一定期間家賃相当額を支給。

考察

・町では社会福祉協議会で相談業務を行っているが、丸亀市のような積極的な支援事業には追いついていないと感じた。

・伴走型の支援ができる人材の育成、事業者の発掘が必要。
・萬象園で農作業を通じて自立を果たす実践は、農地が少ない本町でも「農福連携」として参考になるのではないか。

芸術のまちづくり

視察先

香川県香川郡直島町

10月26日

瀬戸内国際芸術祭2022が行われている会場の一つである直島を見学した。

芸術祭には若者や外国人などの交流人口の増加が期待できるが、経済効果につながる方法を構築すべきだろう。地域の住民が活用できる仕組みづくりが必要である。



有名な草間彌生氏の作品

GPSを使って認知症行方不明者を発見

視察先

香川県高松市

10月25日

高松市では、認知症高齢者が行方不明になった場合、身に着けたGPS端末の位置を検索することで、家族が居場所を確認でき、安心して在宅生活を送ることができるように本事業を実施している。

考察

・町では二次元バーコードによる行方不明者家族支援サービスを行っているが、登録しているが、登録して

委託先はセコムとALSOKの2社であり、市は医師の意見書と申請をもとに支給を決定し、初期費用を負担する。

・高松市が発行している「高齢者のためのあんしんガイドブック」は高齢者のための情報が網羅されており、町でも導入を検討してもよいのではないかと感じた。



丸亀市の先進事例を学ぶ

目指せ パークゴルフ日本一!

私たち、ねんりんピックかながわ2022に出場しました。



左から向笠さん、秋山さん

昨年11月13・14日に神奈川県開成町開成水辺スポーツ公園で開催された「ねんりんピックかながわ2022パークゴルフ交流大会」に静岡県代表選手として出場し、29チーム中、団体戦で入賞という好成績をおさめた秋山勝さん(82)戸畑区在住、向笠勝代さん(79)上徳倉区在住のお二人に、パークゴルフの魅力について伺いました。

パークゴルフを始めたきっかけは。

秋山 60歳の定年を機に健康維持のため、いつでもできる手軽な運動として始めました。

向笠 50歳頃、友達に誘われて始めたのですが、今ではその面白さに目覚め、毎日のようにパークゴルフをやっています。

パークゴルフの魅力は。

秋山 なんととっても手軽にできることと年齢性別に関係なく楽しめることです。また、近くに整備されたコースがあるの



富士山に向かってナイス・ショット!

で、いつでも気持ちよくプレイできること、そして奥が深いことです。

向笠 最初のホールの第一打目で、狙ったところにボールが止まった時の気持ちよさは最高ですよ。

ねんりんピックに静岡県代表で出場した感想は。

秋山 北海道から来た93歳の選手を見て、あの人を目標に頑張ろうという気持ちになりました。

向笠 優勝したいという気持ちで参加しました。以前高知県で行われたときは、団体戦で優勝しました。3年前の富山の大会にも出場させていただき、全国の選手の方と知り合えるのが楽しみになっています。



アプローチは慎重に

これからの目標は。

秋山 いくつになっても楽しくプレイができることが目標です。

向笠 健康で楽しくプレイをすること、そして良いスコアを出すことです。

これからパークゴルフを始めたいと思ってる方に一言お願いします。

秋山 とにかく、一緒に楽しみましょう。女性の参加が少ないので、女性の方も、ぜひ一度やってみてください。きつとハマりますよ。

向笠 誰でも手軽に楽しくプレイができます。一緒に楽しみましょう。

お知らせ

次の定例会は
3月1日
午前9時
開会予定です。

「ねんりんピック」は、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である全国健康福祉祭の愛称です。昭和63年から、毎年開催されています。

今回の取材に当たり、寒空の中、元気にパークゴルフを楽しんでいる多くのシニアの皆さんにお話を伺い、私も元気をいただきました。ありがとうございました。ありがとうございました。

今、町が進めている「笑街健幸のまちづくり」は少しずつですが、実を結んでいると感じました。インタビュー秋山治美

編集後記

私たち議員は、町の抱えている政策課題について、その解決方法や成果を出すためにはどうすればいいのかを考えています。その課題解決の参考にするために、先進的な取組を実施している他市町村の視察を行います。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、2年間視察を控えてきましたが、少し落ち着いてきた10月に各委員会で行行政視察を行いました。それぞれがまちづくりのヒントを学び、議会での政策提言に結びつけていきたいと思っています。

(松下)

発行・編集責任者
議長 松浦 俊介
副議長 吉川 清里
委員 松本 尚美
委員 秋山 治美
委員 山本 文博
委員 飯田 安雄
委員 向笠 誠

この議会だよりは1万2700部製作し、1部当たりの制作費は約23円です。